

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東名

上場会社名 CKD株式会社

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 舟橋 典孝

TEL 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,939	14.6	1,521	6.0	1,582	9.2	1,070	△10.0
26年3月期第1四半期	16,528	0.8	1,434	62.3	1,449	40.7	1,189	65.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 813百万円 (△59.1%) 26年3月期第1四半期 1,987百万円 (168.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	17.14	—
26年3月期第1四半期	19.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	87,305	57,924	66.3
26年3月期	86,711	57,712	66.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 57,924百万円 26年3月期 57,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	9.6	4,100	19.5	4,100	17.0	2,600	3.3	41.63
通期	80,000	6.0	8,500	7.8	8,500	4.5	5,500	0.8	88.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	69,429,349 株	26年3月期	69,429,349 株
27年3月期1Q	6,976,925 株	26年3月期	6,976,836 株
27年3月期1Q	62,452,463 株	26年3月期1Q	62,453,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
〔生産、受注及び販売の状況〕	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税の影響により企業の生産・サービス活動は一時的に落ち込んだものの、政府による経済政策や金融緩和策の効果により回復に向かいはじめました。設備投資は投資減税などの政策効果により徐々に増加いたしました。また、雇用者所得はベースアップにより増加し、個人消費も緩やかながら回復に向かいはじめました。

一方、米国経済は寒波による一時的な減速はありましたが成長に向かいました。欧州経済も穏やかな回復が続きました。また、アジア経済では中国は停滞感があらわれましたが、景気刺激策の効果から持ち直し、成長を続けました。

このような状況のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高18,939百万円（前年同四半期比14.6%増）、損益面では、営業利益1,521百万円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益1,582百万円（前年同四半期比9.2%増）、四半期純利益1,070百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

リチウムイオン電池製造システムは、情報通信機器向けを中心に前年同四半期に比べ売上が増加いたしました。また、三次元はんだ印刷検査機は、車載用及び情報通信機器用向け売上が増加いたしました。

一方、主力商品の薬品自動包装システムは、第2四半期以降に納入時期が集中しているため、当第1四半期連結累計期間の売上は減少いたしました。

その結果、売上高は2,519百万円（前年同四半期比25.9%減）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比86.9%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、輸出の好調に内需の回復も加わり生産台数が増加している工作機械向け売上と、設備投資が続いている自動車業界向け売上が増加いたしました。また、半導体製造装置向け売上は、前四半期に比べ減少いたしました。前年同四半期との比較では増加いたしました。

東アジアは、中国を中心に情報通信機器などの設備投資が動いたことと、昨年10月に竣工した当社グループの中国新工場による生産の拡大効果から売上が増加いたしました。東南アジアは設備投資が続く自動車業界向け売上、米国は自動車業界と半導体業界向け売上が増加いたしました。

その結果、売上高は16,420百万円（前年同四半期比25.1%増）、セグメント利益は2,111百万円（前年同四半期比34.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ594百万円増加の87,305百万円となりました。これは主に、売上債権が減少したものの、たな卸資産及び未収入金が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ381百万円増加の29,380百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、仕入債務及び賞与引当金並びに前受金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ212百万円増加の57,924百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少の66.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、景気の持続的な回復が期待されるものの、為替の変動、欧米の景気動向、新興国の経済成長の減速などの外部リスクにも注視していくことが必要となります。

このような状況から、現時点では第2四半期連結累計期間及び通期の予想については、平成26年5月8日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、CKD VIETNAM ENGINEERING Co., LTD. 及びPT. CKD TRADING INDONESIA を新たに設立し、連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

この変更により連結財務諸表に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、CKD SINGAPORE PTE.LTD.、CKD韓国株式会社、台湾喜開理股份有限公司の3社については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、同3社が決算日を3月31日に変更することに伴い、当第1四半期連結累計期間は平成26年1月1日から平成26年6月30日までの6か月間を連結しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,982	10,377
受取手形及び売掛金	19,548	17,822
営業未収入金	2,751	2,212
有価証券	4,000	4,000
商品及び製品	3,691	3,982
仕掛品	2,103	3,126
原材料及び貯蔵品	10,805	11,416
その他	3,925	4,528
貸倒引当金	△68	△43
流動資産合計	56,739	57,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,229	10,176
その他(純額)	15,499	12,058
有形固定資産合計	22,728	22,234
無形固定資産	749	750
投資その他の資産	6,492	6,897
固定資産合計	29,971	29,882
資産合計	86,711	87,305
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,492	11,641
短期借入金	2,066	2,042
未払法人税等	2,544	651
賞与引当金	101	1,013
その他の引当金	500	434
その他	9,029	9,244
流動負債合計	24,734	25,028
固定負債		
長期借入金	1,380	1,250
退職給付に係る負債	165	170
その他	2,718	2,931
固定負債合計	4,264	4,352
負債合計	28,999	29,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,737
利益剰余金	35,913	36,359
自己株式	△4,609	△4,585
株主資本合計	55,057	55,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,247	1,404
為替換算調整勘定	1,848	1,440
退職給付に係る調整累計額	△440	△448
その他の包括利益累計額合計	2,654	2,397
純資産合計	57,712	57,924
負債純資産合計	86,711	87,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	16,528	18,939
売上原価	11,494	13,168
売上総利益	5,034	5,771
販売費及び一般管理費	3,599	4,250
営業利益	1,434	1,521
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	45	48
その他	73	84
営業外収益合計	123	141
営業外費用		
支払利息	17	11
売上割引	29	31
為替差損	50	17
その他	10	17
営業外費用合計	108	79
経常利益	1,449	1,582
特別利益		
固定資産売却益	1	0
退職給付制度改定益	294	—
特別利益合計	295	0
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	2	8
特別損失合計	3	11
税金等調整前四半期純利益	1,741	1,572
法人税、住民税及び事業税	194	597
法人税等調整額	357	△95
法人税等合計	551	501
少数株主損益調整前四半期純利益	1,189	1,070
四半期純利益	1,189	1,070

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,189	1,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	157
為替換算調整勘定	606	△407
退職給付に係る調整額	—	△7
その他の包括利益合計	798	△257
四半期包括利益	1,987	813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,987	813
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,398	13,130	16,528	—	16,528
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	32	32	△32	—
計	3,398	13,162	16,561	△32	16,528
セグメント利益	429	1,575	2,004	△569	1,434

(注) 1. セグメント利益の調整額△569百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△578百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,519	16,420	18,939	—	18,939
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	48	48	△48	—
計	2,519	16,469	18,988	△48	18,939
セグメント利益	56	2,111	2,167	△646	1,521

(注) 1. セグメント利益の調整額△646百万円には、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△654百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	2,545	△22.6
機器部門	16,712	+29.5
合計	19,258	+19.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	4,570	+41.8	10,132	+18.0

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	2,519	△25.9
機器部門	16,420	+25.1
合計	18,939	+14.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。